

4月 5日 (火) 児童の防犯・交通安全を願って  
新1年生へ寄贈



西原町交通安全推進協議会(崎原盛秀会長)から蛍光色のランドセルカバー、浦添地区交通安全協会(比嘉清会長)から交通安全反射材付巾着、浦添地区防犯協会(大宜味朝雄会長)から「いかのおすしクリアファイル」を、町内4小学校の新1年生へ寄贈がありました。贈呈をうけた新島悟教育長は「ランドセルカバーや反射材付巾着は、保護者にとって安心を感じとれるものだけでなく、子どもの命を守ることにつながるため、たいへん感謝している。また、ドライバーだけでなく、子どもたち自身も防犯・交通安全を意識するきっかけになってほしい」と述べました。

3月 30日 (水) 文部科学大臣優秀教職員  
表彰受賞報告



坂田小学校に勤務する平山由紀子先生が令和3年度文部科学大臣優秀教職員として表彰されました。報告に訪れた平山先生は「今回の地域連携という推薦内容は西原町なくては成し得なかった表彰です。コロナ禍でも諦めずに活動したことで「心で学んでいく教育」が出来ました。世界へ羽ばたける人材育成を目指してこれからも頑張っていきたい」と喜びと今後の抱負を語ってくれました。また、新島悟教育長は「キャリア教育の固定観念を取っ払ってくれた。今後は後輩指導へ期待しております」と激励の言葉を述べました。

4月 12日 (火) 町内小中学校の部活動へ  
アルコール贈呈



新型コロナウイルス感染症の感染防止の支援活動に充てるための「西原町新型コロナゆいまーる募金」で集まった、新型コロナ基金を活用し、小中学校部活動応援事業として、

町内の各小中学校の部活動等のチームへ感染症対策に役立てて欲しいと消毒用アルコールの贈呈を行いました。新型コロナウイルス感染症により、児童生徒のさまざまな活動が影響を受けている中、崎原盛秀町長は「しっかり感染予防をしながら、部活・スポーツ活動を頑張りたい」とあいさつしました。

西原町 新型コロナゆいまーる募金 受付中

【口座振り込み】  
金融機関名：沖縄県農業協同組合 西原支店  
口座番号：普通 0055443  
口座名義：西原町新型コロナゆいまーる募金  
ニシハラチョウシンガタコロナユイマールポキン



文化財コラム

西原の戦後と復帰

昭和三十七(一九七二)年五月五日、アメリカの統治下にあった沖縄は、日本へと復帰しました。復帰前の沖縄は、日本本土へ行くのにパスポート(日本渡航証明書)が必要で、通貨はドル、車は右側通行と、今は大きく違っていました。この時、私たちが住んでいる西原の当時はどのような状況だったのでしょうか。今回は、戦後から復帰前後の西原の歴史に焦点を当てたいと思います。

沖縄戦が終わった後、西原に最初に戻ってきた人々によると、当時の西原は屋敷の跡形もなく、一面雑草やスキが生い茂っていて、戦前の面影は全くなかったといえます。そんな状況から、コンセット(米軍のカマボコ型兵舎)一棟を我謝役所(後に西原村役所)として戦後復興を開始しました。それはまさにゼロからのスタートだったそうです。当時の西原には米軍の飛行場もあり、基地問題も抱えていました。しかし、村民の断続的な努力によって、村役所の移転拡大、二つの小学校の開校、西原中学校の開校と



昭和43(1968)年字嘉手刈に新設された西原村役所(復帰とともに西原村役場へ改称)に誕生することになります。戦後、スキが生い茂る西原から、日本復帰を経て町となり、今なお成長を続ける西原町。そんな西原の戦後の歴史に興味を持って頂けると幸いです。

お問い合わせ 文化課 文化財係 ☎944-4998

わったー! うちの話題 Topics in the Town



イベント フォトギャラリー

3月 25日 (金) 坂田小学校  
みまもりゾーンステッカー



子どもたちの通学路環境の安全を守るため、坂田小学校の金城明美校長(当時)、金城義紀教頭及び警察官OBで町の「警友会スクールセーフティサポーター」として活動している前泊良昌さん立会いの下、西原町教育委員会と浦添警察署が共同で、『みまもりゾーンステッカー』の貼り付けを行いました。『みまもりゾーンステッカー』は、子どもたちの目線の高さで交通事故等の注意喚起を行うものとなっており、交通事故注意情報は「緑」、不審者情報は「赤」、危険個所情報は「黄」と色分けされています。今回は令和3年度の合同点検において各小学校から報告のあった危険個所への貼り付けとなっており、今後も教育委員会と各学校及び浦添警察署が協力し、ステッカー設置個所の見直しや貼り直しが定期的に行われる予定です。

※通学路等の合同点検の結果はこちら→



3月 15日 (火) おきなわ黒糖防災缶で  
ピンチを救え!



JAおきなわでは「JAおきなわ黒糖5つ星プロジェクト」が立ち上がりました。そこで非常時の命を守る防災缶として黒糖の新しい魅力を積極的に発信することを目的に、現在非売品のおきなわ黒糖防災缶がJAおきなわ西原支店宮平直樹支店長より町内32行政区の各自治会へ贈られました。JAおきなわでは、おきなわ黒糖防災缶を通して県民の防災意識が高まることも期待し、今後の黒糖防災缶の開発普及に際し、地域のみなさんの協力を呼びかけています。

【お問い合わせ】  
JAおきなわ マーケティング戦略室 ☎098-831-5167

3月 23日 (水) 食料物資寄贈式



社会貢献事業として、永寛(株)(黄怡怡社長)と(株)テロワール・アンド・トラディション・ジャパン(二瓶徹社長)他2社から「コロナ禍で経済的に困っている方々に役立ててほしい」と、町に食料品が寄贈されました。崎原盛秀町長は、「食料物資は、生活困窮世帯など、支援を必要としている方に届けます。」と話し、各社に感謝状を贈呈しました。

食料品の配付は、困窮世帯等への食糧支援(フードバンク事業)を実施している町社会福祉協議会が行っています。

- ◆寄付の内容
- 永寛株式会社様(東京都)米1,000個、醤油1,200本、食肉加工品1,000食
  - 株式会社テロワール・アンド・トラディション・ジャパン様(東京都)手延べ素麺1,000個
  - 株式会社奥島創製巧房様(岡山県)冷やし中華150個、ピリ辛中華150個
  - 株式会社三倉食品様(西原町) 沖縄そば 400食

【お問い合わせ】福祉課 社会福祉係 ☎098-945-4791  
西原町社会福祉協議会 ☎098-945-3651

3月 25日 (金) 西原町スポーツ少年団  
全国表彰受賞報告



西原町スポーツ少年団の真栄城哲本部長から、崎原町長へ全国表彰受賞報告が行われました。西原町スポーツ少年団は昭和49年4月に設立(設立47年目)され、現在、17団・指導者49人・団員290人の団体となっており、当団体のスポーツ振興に対する積極的な活動が評価され今回の受賞となりました。今回の表彰は、10年ぶり3度目の受賞となっています。

3月 30日 (水) 沖縄キリスト教学院大学と  
西原高校の協定書調印式



沖縄キリスト教学院大学と西原高校の間で、包括連携協力に関する協定書調印式が行われました。連携協力の締結により、将来的には、西原高校で取り組む『総合的な探求の時間』という授業を通し、高校教師と大学教授及び大学生と高校生の交流を含む、多種多様な教育に力を入れていきます。

『総合的な探求の時間』とは、高校生自らが主体となって、自身の考える様々な課題に自由に取り組む授業となっており、主体性や自己解決力を育むことを目的としています。西原高校の安次富利恵子校長は「連携協力によって教育機関が手を取り合うことで、相互に教育力の向上を図っていききたい」と述べ、キリスト教学院大学の金永秀学長は「共に手を携え、教育の歩みを進めていききたい」と述べました。

※広報紙に掲載する写真については、撮影時のみマスクを外しております。